

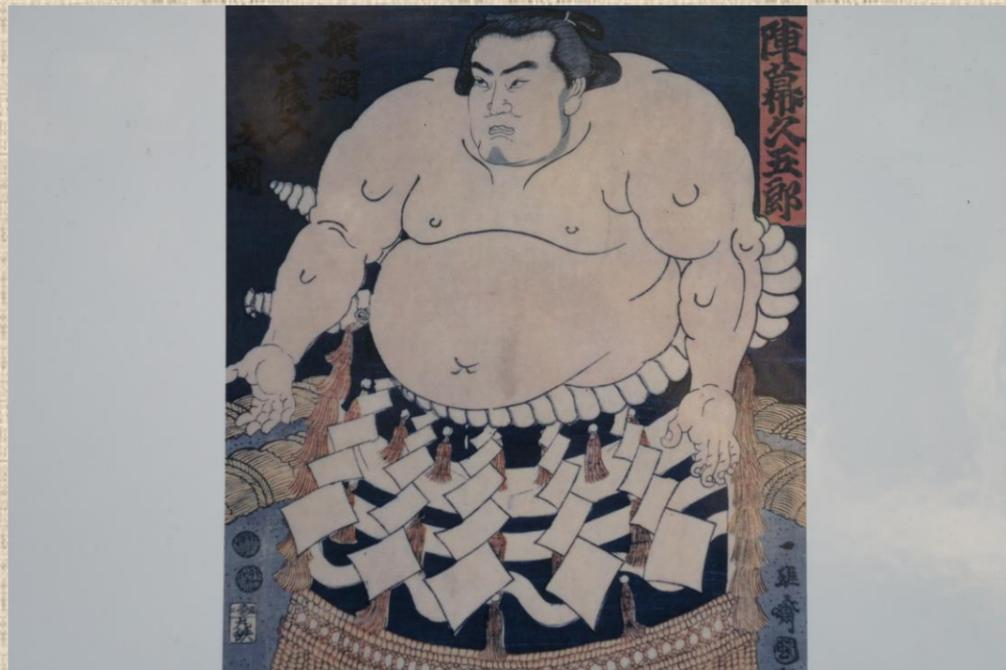
# さたけ散歩

第14号

## ◇次号予告◇

次回のテーマは「大相撲発祥の地 富岡」

東京都江東区富岡を特集します。



ゴジラ生誕60年 有楽町



有楽町マリオン（東京都千代田区）



江戸時代中期、JR有楽町駅から有楽町マリオン(正式名称は有楽町センタービル)までの場所には、大岡越前守忠相(おおおかえちぜんのかみただすけ)が活躍していた頃の南町奉行所が存在していました(写真右)。現在、有楽町駅の駅前広場には発掘により出土した南町奉行所の石組みが再現されています(写真上:地図①)。



石原裕次郎と牧村旬子(まきむらじゅんこ)による「銀座の恋の物語(昭和36年)」が発表されると爆発的なヒットを記録し、デュエット曲における代表的なスタンダードナンバーが確立されました。これを記念して数寄屋橋公園(すきやばしこうえん)には記念碑が建立されています(写真右)。



「有楽町で逢いましょう」碑

NHKラジオドラマ「君の名は(昭和27年)」やフランク永井のヒット曲「有楽町で逢いましょう(昭和32年)」により全国的な知名度となった東京都千代田区有楽町(ゆうらくちょう)。有楽町という地名は、織田信長の実弟・織田有楽斎長益(おだうらくさいながます)の屋敷があったことに由来します。織田有楽斎は本能寺の変後、豊臣秀吉・徳川家康に仕えたことにより、戦乱の世を生き延びることができました。有楽斎は自身で有楽流という茶道の一派を創設するほど茶の湯に対する造詣が深く、千利休(せんりきゅう)門下の七哲(しちてつ:「利休七哲」)の一人に数え



「南町奉行所跡」を示すプレート



「銀恋の碑」



東京都千代田区有楽町一丁目にある日比谷シャンテ(地図②)。日比谷シャンテの敷地内にある広場は「合歓の広場(ねむのひろば)」と名付けられ、待ち合わせ場所として有名です。合歓の広場には東宝に所属している映画スターの手形やゴジラの銅像があり、訪れる人々の目を楽しませて



日比谷シャンテや合歓の広場は東宝日比谷ビルの敷地となっていることから、東宝映画に出演



■アクセス (ゴジラ像)  
東京メトロ日比谷線日比谷駅下車徒歩3分



合歓の広場



銅像のプレートには「このゴジラが最後の一匹だとは思えない。」という古生物学 山根恭平博士のセリフが刻まれています。1954年11月3



有楽町を歩いて

山手線が延伸され、有楽町駅が開業したのは明治43年のこと。昭和8年に日劇、昭和9年に東京宝塚劇場がオープンしたことにより、有楽町は劇場街となりました。また、毎日新聞・朝日新聞の本社と読売新聞社有楽町別館が置かれたこともあり、現在のマリオン周辺は「新聞街」とも呼ばれていたのです。戦前までの有楽町は庶民にとって、まだ程遠いまちだったのです。